教育実践研究発表会　発表テーマ及び研究概要一覧（発表順）

	校種等	氏　　名	キーワード	発表テーマ 研究の背景、改善したい課題等
①	高等学校 工　業 現職院生	佐　藤　　錦	総合的な探究の時間、課題研究、ミドルリーダー	**高等学校における「探究学習」の組織的推進に関する研究** 総合的な探究の時間、課題研究は全学科で必修だが、指導体制や外部連携は学科の裁量が大きく、実施状況に差があると推察される。本研究では学科を横断して指導上の困難の共通点と相違点を明らかにすることを目的とした。また、ミドルリーダーの役割を考察する。
②	中学校 ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ 現職院生	嶋　　正　壽	若手教員の育成、メンターチーム、省察の深まり	**中学校における若手教員育成を推進する OJT の研究** 若手教員の成長には、自らの実践を省察する力が大切である。そこで、本研究では、中学校のメンターチーム内の対話を分析し、どのような条件が整えば若手教員の省察は深まるのかを探ることを目的とした。また、チームによる育成の効果を考察する。
③	小学校 ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ 現職院生	菅　原　　真	若手教員育成、ALACT モデル、省察支援	**初任期教員の省察を深める支援者の役割 －ALACT モデルに基づく対話的省察支援のアクションリサーチ－** 採用２・３ 年目の小学校教員を対象に、ALACT モデルに基づく対話的な省察支援を実践する。支援者の問いかけによって、教員がどのように自己課題を形成し、省察を深めていくのかを逐語録を分析し明らかにする。
④	小学校 国　語 学卒院生	杉 山　　夢 香	話すこと・聞くこと、哲学対話、曖昧性	**曖昧性を内包した対話活動の在り方とその効果に関する研究 －小学校国語科「話すこと・聞くこと」領域における哲学対話の授業実践－** 本研究は、小学校国語科「話すこと・聞くこと」領域における、曖昧性を内包した対話活動の在り方とその効果を明らかにすることを目的とする。経験を基に対話を行う学級と絵本などの作品を基に対話を行う学級の実践を比較し、題材の性質と、児童の思考や対話の過程との関わりを検討する。また、他者の考えを受け自分の考えを広げたり捉え直したりする姿、「話すこと・聞くこと」の資質・能力、曖昧さへの態度の変化を分析し、その教育的効果を考察する。
⑤	小学校 音　楽 学卒院生	高 橋　　美 羽	視覚教材教具、鑑賞	**小学校音楽科における視覚教材教具を活用した授業実践** 音楽科の授業では、旋律や音色などの聴覚的な情報を扱うが、これらを視覚的にも整理する配慮が必要である。しかし、視覚的な補助手段の使い方に丁寧さが不足しているという課題がある。本研究では、鑑賞の授業実践を通して、視覚教材教具がもたらす効果を考察する。

⑥	小学校 理　科 現職院生	南舘　　淳基	自己調整学習、動機づけ、問題解決方略	**小学校理科における自律的な学習者の育成：自己調整学習の理論に基づく授業プログラムの開発と評価** 次期学習指導要領改訂に向けて、自らの学習を調整する力の育成がますます重視されている。本研究では、自己調整学習の理論に基づく授業プログラムを開発、実践し、児童の動機づけや問題解決方略への効果、振り返りシートにおける記述の変化等を検討する。
⑦	小学校 社　会 現職院生	佐々木　沙織	博学連携、歴史的イメージ、歴史認識	**博物館との連携を通した小学校６年社会科授業の実践的研究** 博学連携の実践は蓄積されてきたが、子どもの学びにどう結びつくかは十分に検証されていない。そこで、実物資料や学芸員との対話を生かした授業を実施し、歴史的イメージと歴史認識がどのように深まるかを明らかにする。また、継続可能な連携の在り方を検討する。
⑧	小学校 道　徳 学卒院生	芳賀　　憧子	道徳科、多文化共生、パッケージ型ユニット	**国際理解・多文化共生の実現をめざす小学校道徳科授業のあり方について** グローバル化が進む社会で生きる私たちにとって、様々な文化的背景を持つ者が互いに理解し合い、どのように共生していくかは喫緊の課題となっている。本研究では、多文化理解・共生の実現という課題に応えうる小学校での道徳科授業の在り方を明らかにする。
⑨	特別支援 現職院生	佐藤　　光一	知的障害、自立活動、個別の指導計画	**知的障害特別支援学校における自立活動の個別指導計画の作成と活用に資する教員の協働モデルの構築** 知的障害特別支援学校における自立活動の指導の充実を図ることを目指し、教員が協働して児童生徒の実態に基づいた自立活動の個別の指導計画を作成し、授業実践や評価、改善に効果的に活用するための方法を明らかにする。
⑩	特別支援 学卒院生	千葉　　暖斗	知的障害、ソーシャルスキル	**知的障害特別支援学校におけるソーシャルスキルの育成に資する個別指導計画の作成と活用の手続き** 知的障害特別支援学校において、教育課程全体でソーシャルスキルの育成に資する指導を実施するにあたっての個別の指導計画の作成を行い、それを活用した指導、支援、評価を実施し、一連の手続きを明らかにすることを目的とする。
⑪	中学校 数　学 学卒院生	原　　颯馬	ICT、関数、関数グラフアート	**中学校数学科における ICT を活用した指導に関する実践的研究** **－数学科教員と中学生を対象とした質問紙調査と授業分析を通して－** ICT 機器が普及している一方、活用についてさまざまな課題が存在する。中学数学では、『関数』領域での活用研究が不足しており、関数の思考水準の向上と創造的思考の育成のため、関数グラフアートをはじめとした効果的な指導アプローチの構築について考察する。
⑫	中学校 英　語 現職院生	佐藤　和香奈	話すこと、技能統合型の指導、即興性	**やり取りを中心とした話す力を育てる中学校英語授業の工夫** グローバル化に伴い、４技能を統合したコミュニケーション能力の育成が求められているが、即興的なやり取りには課題がある。そこで、本研究では技能統合型の指導を通して、「話すこと［やり取り］」の力の変容を検証することを目的とする。
⑬	中学校 英　語 現職院生	菊池　雄一郎	読むこと、概要把握	**中学校英語読解授業における概要把握の強化について** 令和５年度全国学力調査「中学校 英語『読むこと』」の「概要把握」に関する問題に焦点を当て、中学生の概要把握力を育成する指導法について検討し、その効果を検証することを目的とした。